

2050ゼロカーボン達成と持続可能な社会の実現を目指す！

上伊那ゼロカーボン・プラットフォーム

Kami-ina Zero Carbon Platform

「上伊那ゼロカーボン・プラットフォーム(KZCP)」の概要

設立の背景

令和4年10月、県経営者協会上伊那支部と上伊那市町村長との懇談会の場で、ゼロカーボンに産官が一体となって取り組むことが確認され、その後1年かけて立ち上げに至る。

趣旨・目的

将来世代も安心して暮らせる「持続可能な社会」の実現を目指し、上伊那地域における2050年ゼロカーボン実現に向けた個人・団体・事業者の個々の活動を支援する、希望する者がいつでも参加できる共同活動基盤

設立時期

令和5年10月

運営組織（6者による共同運営）

長野県経営者協会上伊那支部、長野県環境保全協会伊那支部、上伊那広域連合、
長野県上伊那地域振興局、長野県企業局 南信発電管理事務所
長野県産業振興機構伊那センターリサイクルシステム研究会

当面の活動

シンポジウム（年1回）、定例会（年3回程度）

事業の内容

- ①意識啓発・活動促進のためのシンポジウムやセミナーイベントの開催
- ②各種先進事例の紹介や現地見学
- ③省エネルギーの推進
- ④ソリューションの紹介
- ⑤ニーズ・シーズの共有とマッチング（市町村事業ニーズと産業界シーズ、産業界でのニーズとシーズなど）
- ⑥人財育成
- ⑦情報交換・情報提供
- ⑧その他必要な活動

「上伊那ゼロカーボン・プラットフォーム(KZCP)」の概要

運営体制

上伊那ゼロカーボンプラットフォーム

地域住民

行政

対象：上伊那8市町村
伊那市
駒ヶ根市
辰野町
箕輪町
飯島町
南箕輪村
中川村
宮田村
上伊那広域連合

事業者

対象：趣旨に賛同し参加を表明した
一般企業・金融機関等の事業者

経協会員

対象：趣旨に賛同し参加を表明した
経協会員の事業者

共同運営事務局

上伊那広域連合

県経営者協会
上伊那支部

県環境保全協会
伊那支部

県地域振興局

県企業局 南信
発電管理事務所

リサイクルシステム研究会
(NICE伊那)

プラットフォーム全体の運営（事務局）
取り組みの検討・実施（合議体）

リサイクルシステム研究会の概要

発足の経緯

平成2年6月(1990年)、産業(企業)の発展と自然環境の共生を図るため、調査研究・情報提供事業として「産業廃棄物等の適正処理についての研究会」を発足。
その後、「リサイクルシステム研究会」に改称し、循環型社会形成を目指す活動を推進。

参加企業

上伊那地域・南信州地域の異業種で構成
会員企業数は17社(団体)、会員数は31名(事務局含む)
(デバイス・オフィス家具・食品・電力・化学・電気機器・産廃・精密機器)

主な活動

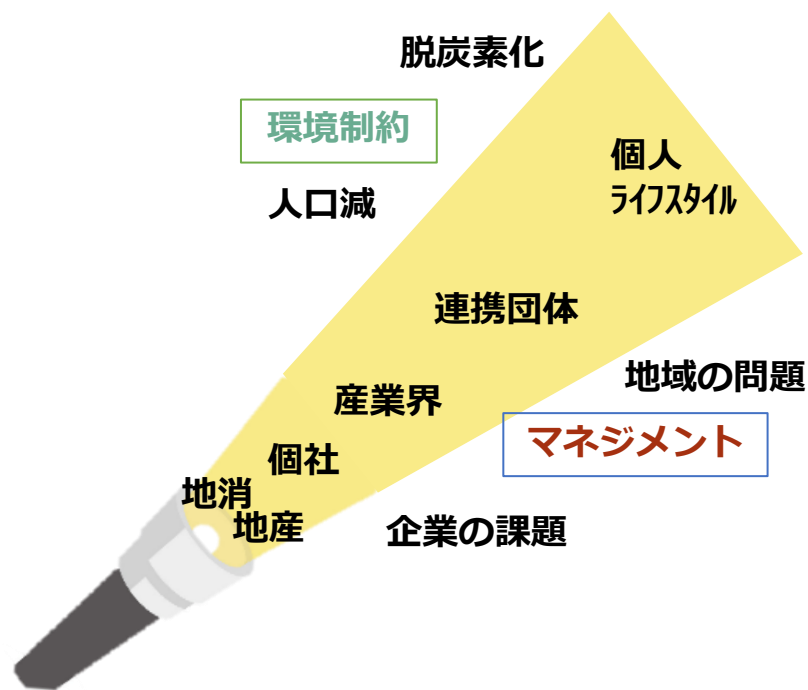
1. 循環型社会の形成・環境教育・啓蒙活動

- (1)「天竜川水系環境ピクニック(河川の美化活動)」の開催 平成6年(1994年)～
- (2)「天竜川水系健康診断」の実施 平成9年(1997年)～終了
- (3)「INAオフィス用紙循環システム」の地域内での運用 平成11年(1999年)～
- (4)「身近な水環境の全国一斉調査」への参加 平成11年(1999年)～
- (5)「親子で水質調査」の実施 平成13年(2001年)～
- (6)「KIDSエネルギーコンテスト」の開催 平成13年(2001年)～終了
- (7)「南信州環境メッセ」に展示出展 令和3年(2021年)～

2. 伊那谷自然エネルギー地消地産モデルの構築

- (1)「省エネ・創エネ最先端施設見学会(視察)」の実施 令和2年(2020年)～
- (2)「上伊那ゼロカーボン・プラットフォーム」(KZCP)の共同運営 令和5年(2023年)～

リサイクルシステム研究会のスタンス 長期に亘り一貫してモデルづくりの道筋を示す



① 様々な団体との連携

- ・ 異業種、個社の個性
- ・ 伊那谷全体にネットワーク
- ・ 産学官、各地域の団体との連携

② おせんしょファシリテーター

- ・ 課題解決策の積極的な調整・働きかけ
- ・ 支援する、支援してもらう
- ・ 軌道に乗せ実行組織へバトンタッチ

③ 長く続く活動にする

- ・ 楽しくやる
- ・ 会社や地域の理解を得る

※おせんしょ・・・南信州の方言で「おせっかい」のこと

KZCP の特色

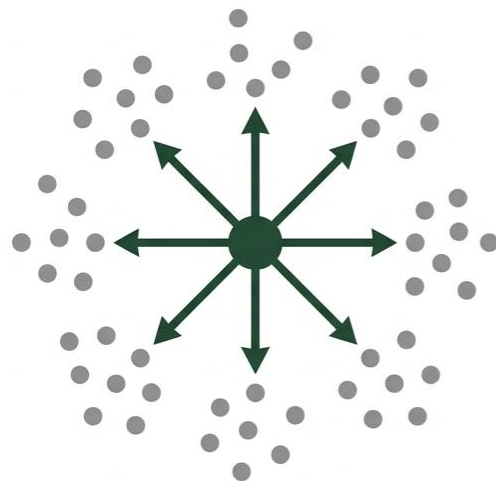
①KZCPは地域連携の「ハブ」である

ばらばらに動いている点と点を結びつける

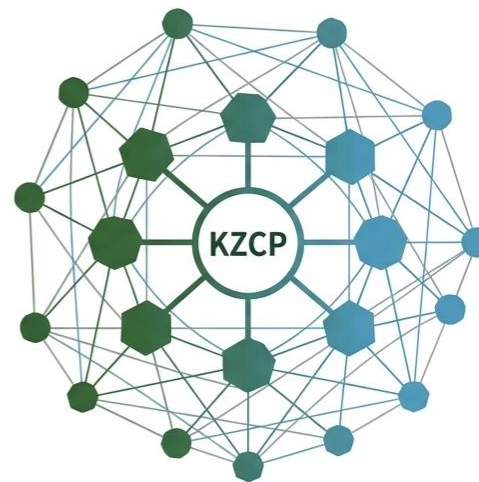
②会員を募集しない

まずは参加ハードルを下げ、広げる

③対話を重視し、自律的なネットワークをつくる



一方通行の情報提供



多方向のネットワークの網の目

KZCP キックオフシンポジウム開催概要

キックオフシンポジウム開催

令和6年2月22日開催 伊那市 信州INAセミナーハウス & オンライン

(1)ゼロカーボンに向けた地域連携のための講演

講演1「地域連携を軸にしている脱炭素経営 – その可能性と課題」
立命館大学教授 ラウパツハ・スミヤ ヨーク 様

講演2「産学官の連携による地域ゼロカーボンの実現」
信州大学准教授 茅野 恒秀 様

(2)KZCPの概要説明

(3)参加者での情報交換・意見交換



講演の様子

実施結果

参加数(内訳)	会場	Online	計
産業界、事業者など	11	35	46
市町村、県など	13	16	29
金融機関	4	0	4
支援団体	4	4	8
学校関係	0	1	1
電力会社	2	1	3
事務局	12	0	12
合計	51	57	108



情報交換・意見交換

①省エネのハードルを下げる

ゼロカーボンを「コスト」から「投資・利益」へ転換する

②先進事例を体感する

現場でインスピレーションを得る

③行政・企業の実例を共有する

地域のフロントランナーから学び行動の連鎖に

①省エネのハードルを下げる

第2回 定例会

令和6年9月18日開催 伊那市 alla & オンライン

エネルギー対策実践セミナー

- (1) 講演「利益を生み出すエネルギー対策」
中村環境コンサルタント事務所 代表 中村秋男 様
- (2) 事例発表「電力使用量削減などの省エネルギー対策」
日進乳業(株) アルプス工場工務課 主任 渋谷一秀 様
- (3) 事業紹介「伊那市商工業者向けSDGs推進プロジェクト」
(公財)上伊那産業振興会 元気ビジネス応援隊 統括 伊藤憲明 様

実施結果 参加者:49名 (会場18名、オンライン31名)



第4回 定例会

令和7年2月18日開催 伊那市 inadani sees

太陽光発電のススメ

- (1) 「地域脱炭素・脱炭素経営の実現に向けた再エネ電力の活用方法と効果」
八十二LinkNagano(株) 電力事業部長 坂本 智徳 様
- (2) 「2050ゼロカーボンみのわ 推進プロジェクトについて」
箕輪町ゼロカーボン・DX推進室長 川合 昭 様
- (3) 「地域新電力と組合せた太陽光発電事業」
おひさま進歩エネルギー(株)取締役 蓬田 裕一 様

実施結果 参加者:38名



①省エネのハードルを下げる

第7回 定例会

令和7年10月6日開催 伊那市 alla & オンライン

事業所の省エネ支援セミナー

- (1)「2027年に蛍光灯が製造終了！ 今すぐ取り掛かりたいLEDへの更新」
三菱電機住環境システムズ(株) 柴田 大地 氏
- (2)「J-クレジット制度の活用！ CO2削減プロジェクト&ファイナンスメニューのご紹介」
三菱電機フィナンシャルソリューションズ(株) 村上 大樹 氏
- (3)「実データから省エネを！ 設備電力の見える化で実現する電力コスト削減」
エプソン販売(株) 新ビジネス推進部 佐々木 稔 氏
- (4)「意外な省エネ実践術！ インクジェットで実現する省エネに向けた第一歩」
エプソン販売(株) 新ビジネス推進部 吉田 優太 氏

実施結果 参加者:55名 (会場33名、オンライン22名)



②先進事例を体感する

第3回 定例会

令和6年12月6日開催（リサイクルシステム研究会と共催）

脱炭素先進施設の見学

(1)「エア・ウォーター(株) 地球の恵みファーム松本」(松本市、他)

未利用資源から電気、熱、CO₂、肥料等を生産し、農業・養殖に活用する
地域資源循環モデルの実証施設

(2)「(株)シグナス水力発電研究所 小水力発電所」(松川村)

農業用水に特化したことで認可手続きや工事が容易で、低価格、
落差1m程度で最大18.5kWの発電が可能な最新式の発電設備

実施結果 参加者:20名



③行政・企業の実例を共有する

第5回 定例会

令和7年7月7日開催 箕輪町 KOA(株)

脱炭素セミナー&KOAさくらウィング見学会

(1)「KOAの脱炭素への取り組み」

リサイクルシステム研究会会長/KOA(株) 吉川琢郎

(2)「さくらウィング内 共創の間」見学

電気自動車(EV)車両の分解展示、風に見える化パネルなど

(3) 参加者での情報交換・意見交換

実施結果 参加者:27名



第6回 定例会

令和7年7月9日開催 南箕輪村 信州大学農学部

長野県ゼロカーボン戦略の中間見直しに向けた意見交換会

(1) 長野県環境部からの説明

①気候変動の影響と対応策について

②長野県ゼロカーボン戦略について

(2) 参加者によるワークショップ

テーマ「脱炭素に関して将来を担う若者は何をすべきか」

実施結果 参加者:39名 (大学生16名、企業・行政職員等23名)



今後の展望：地域の「ニーズ」と「シーズ」をつなげる

市町村が抱える事業課題（ニーズ）と、産業界が持つ技術やアイデア（シーズ）。

あるいは、企業間のニーズとシーズ。

KZCPは、究極の「おせんしょファシリテーター」として、これらのピースを能動的に結びつけ、2050年ゼロカーボンの実現に向けた上伊那の未来を共創します。



ゼロカーボン・シンポジウム2026 開催概要

ゼロカーボン・シンポジウム2026開催

令和8年2月18日開催 伊那市 alla & オンライン

(1) 講演「脱炭素経営による企業価値向上と人材戦略

～現代学生の思考行動特性と脱炭素視点での人材採用・人材育成～

長野地域脱炭素実現推進協議会 事務局

東京海上日動火災保険(株) 長野支店マネージャー 宮下 達也 氏

(2) 事例紹介「株式会社コヤマ 採用活動のご紹介」

株式会社コヤマ 総務部部長

原山 純一 氏

実施結果

参加数(内訳)	会場	Online	計
産業界、事業者など	18	18	36
市町村、県など	5	7	12
金融機関	0	0	0
支援団体	0	2	2
学校関係	0	1	1
電力会社	0	1	1
事務局	12	0	12
合計	35	29	64



シンポジウムの様子